

福島教区報



天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教祖140年祭二年千日活動仕上げる年

仕切って 成人の歩みを進めましょう!

謹んで立教188年の新春のご祝辞を申し上げます。

昨年は、福島教区に繋がる皆様方には、教祖140年祭・年祭活動第2年目の年として『諭達第4号』の思いに沿って、自らの心定めに向かつて仕切って成人の歩みを進められたことと存じます。ご本部より打ち出されてい

ます年祭活動の一環としての「ようぼく一斉活動日」の上には並々ならぬお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。その上、福島教区の横の活動にもご尽力下さいまして誠に有難うございました。

教区長 平澤勇一

明けて本年は、いよいよ令和8年1月26日に迎えます教祖140年祭へ向かつての年祭活動仕上げる年を迎えました。引き続き、御存命の教祖にお喜び頂きますよう、仕切って、成人の歩みを進めさせて頂きたいと存じます。

本年前半の主な行事予定

今年も「ようぼく一斉活動日」が2回各支部で開催されます。あわせて全教行事であります「全教一斉ひのきしんデー」、「全教一斉に

- 3月28日 春の学生おちばがえり
- 4月2日(水) 午前10時より 立教188年 教区祭執行
- 4月19日 婦人会総会
- 4月29日 全教一斉ひのきしんデー
- 5月19日 教区総出ひのきしん
- 5月31日、6月1日 ようぼく一斉活動日
- 7月27日～8月3日 こどもおちばがえり
- 9月 全教会布教推進月間

『第3回ようぼく一斉活動日』各支部で開催

11月3日(日)、4日(祝)、教祖140年祭に向けて、同じ地域に住むようぼくがお互いに励まし合い、勇ませ合つて、それぞれの年祭活動に弾みをつけることを目的とした『ようぼく一斉活動日』の第3回目が福島教区管内8支部9会場で開催され、合わせて324名が参加した。

それぞれの会場に集まった参加者は、おつとめをつとめた後、『諭達第4号』を共に拝読した。その後、教会本部からのビデオメッセージを視聴した。

その中で、松村義司・たすけ委員長は、教祖は一人ひとりの歩みを温かい親心で見守りながら、一層の成人をお待ち下されている。親神様・教祖を信じて、ひながたを頼りに実践し続けることで、陽気ぐらしへ向かう一役を果たすことにつながる、と話された。最後に、ようぼくとして、親神様・教祖のご期待に応え、ご安心いただき、お喜びいただこうという気持ちを持って、残る一年を通らせていただこうと結ばれた。

この後、会場別のプログラムがそれぞれに行われた。また、お道の歌を一緒に歌ったり、昼食を用意して懇親の場を設ける会場もあり、参加者は年祭活動に対する決意を新たにしました。

なお、三年千日仕上げの年の今年は5月31日(土)または6月1日(日)に4回目、11月1日(土)または2日(日)に5回目と、2回の開催が予定されている。詳しくは各支部へお尋ねいただくか、「教区支部情報ネット」をご覧ください。



耶麻支部



田村支部



会津支部



郡山支部



安達支部



福島支部



いわき支部

第3回 ようぼく一斉活動日 ◎福島教区管内会場◎

支部	会場	会場ごとのプログラム内容	参加人数
福島	福島分教会	劇映画「けっこう源さん」視聴 茶話会	44名
安達	安達分教会	講話・ひのきしん	26名
郡山	行理山分教会	ひながたQ&A	74名
田村	三春分教会	おつとめまなび	17名
耶麻	新河沼分教会	おつとめお手直し・グループワーク	40名
会津	若會分教会	おつとめまなび	63名
いわき	磐城平大教会	DVD視聴「宮森与一郎先生講話」 茶話会	35名
相双	福相分教会	茶話会	13名
	原町分教会	茶話会	12名

道の
教職員の集い

「きょういく講演会」開催

11月2日、道の教職員の集い（齊藤元康代（齊藤元康代）表世話人）では

「きょういく講演会」をコパ福島で開催、22名が受講した。

辻真一先生（甲京分教会長・不登校支援相談員）が



「不登校対応講座」とのテーマでお話をした。

まず現代の子供を置かれている状況、そして不登校の状態について話された。そして再登校を目指す上で親がやってはいけないこと、できればやらない方がいい事、親がやるべき事について細かく説明をした。

最後に、「不登校のお子さんを抱えている親の心労は大変。焦りや不安から無理な登校刺激や、その逆に諦めてしまつて、状態を悪化させたり、親子関係の不調に陥っている親が多い。専門家に相談しているケースは2割で、ただ心配するだけでは問題は長期化する。まずは対応方法を学び、適切な対応を」と話を締めくくった。

(M・S)

基礎講座

安達支部会場に43名参加

11月17日 ビデオや講師・澤田芳江（日）、「天理教基礎講座」（安達支部会場）

が二本松市民交流センターで開催され、初めての方12名（内未信仰の方6名）を含む43名が受講しました。

先生（愛静大教会長）の講話を通して、天理教の教えが初めての方にも分かりやすく紹介されました。

参加者からは、「平易な言葉で、よく理解できた。先生の実体験に裏打ちされた話を聞いて、私も毎晩寝る前に喜び探しを实践したいと思った」との感想が寄せられました。



今年度は教祖140年祭の年祭活動2年目として、年祭関連行事もあつたため、開催は1回となりましたが、多くの参加者を迎えることができ、大きな喜びを与えていただきました。

(K・K)

災救隊

教務支庁修繕ひのきしん

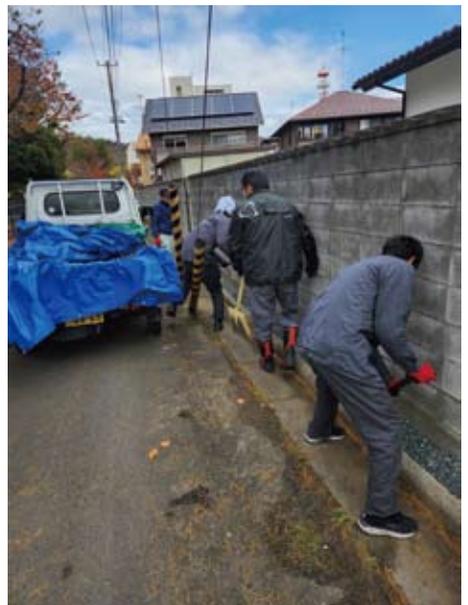
災害救援ひのきしん隊福島教区隊（荒井弘徳隊長）では、11月18日、19日の2日間、教務支庁の修繕ひのきしんを行い、13名が参加した。

教務支庁は、食堂棟等の外壁の漆喰が地震や経年劣化のため落ちたりひびが入ってきており、この度、ひのきしんで修繕することとなった。また、食堂棟裏のブロック塀の外側に雑草が生えて苦情が来ていたことから対処することとなった。

外壁班とブロック塀班とに分かれて作



業は進められた。外壁の方はボードをはって修繕することとし、換気扇やエアコンのダクトの部分を切り取って、2人1組ではっていった。ブロック塀班は、雑草が生えている部分の土を取り除き、碎石を入れていった。駐車場などの出入口はコンクリートを流しいれて固めた。2日間、天候にも恵まれ、作業は予定通りに終了した。（H・A）



災救隊

年末大掃除

ひのきしん

12月1日、災害救援ひのきしん隊福島教区隊(荒井弘徳隊長)では、「年末大掃除ひのきしん」を実施し、教区役職者をはじめ、災救隊員や青年会員など14名が参加した。

午後1時から、神殿を中心に、教務支庁内を上から下へ、天井払い、はたき掛け、掃き掃除、拭き掃除と順次作業を進め、午後3時過ぎの終了時には、建物内部は



きれいに
払い清め
られた。
夕づと
め後には、
「災救隊年
末連絡会」
も行われ、
1年の活
動が報告
された。
(H・A)

厚生部

献血ひのきしん

福島教区厚生部(杉澤元和部長)では、教祖140年祭の仕上げにかかる今、各支部の献血ひのきしんを進めていただき、教祖にお喜びいただこうと呼びかけている。献血車での呼びかけ、献血センターでの採血、他支部での献血ひのきしんのお手伝いなど、各支部の実情に合わせて実動することを促している。

いわき支部(梅井真治支部長)では、12月29日(日)、イオンいわき店において献血動の呼び込み



ひのきしんを行い、13名が参加した。年末年始は血液不足になりがちということで、この時期に毎年行われている。

また、会津支部(杉澤元和支部長)では1月10日に予定されている。(M・S)

春の学生おぢぼがえり
3月26日(水)～29日(土)

立教188年 教区祭
4月2日(水) 10時執行

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索!
[Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)